

留意点

①病床機能報告は、定性的な基準に基づく自己申告であり、報告結果もまだ流動的

②病床機能報告は病棟単位で4つの機能を選択するが、将来推計は患者数から推計しており、そのまま比較できるものではない

病床機能報告	将来推計		
<p>病棟A (30床)</p> <p>この病棟は、高度急性期機能 (自己申告)</p>	<p>ある日の病棟A</p> <table border="1"> <tr> <td>高度急性期機能相当の患者 15人</td> <td>急性期機能相当の患者 15人</td> </tr> </table>	高度急性期機能相当の患者 15人	急性期機能相当の患者 15人
高度急性期機能相当の患者 15人	急性期機能相当の患者 15人		

ここを高度急性期機能の推計に活用

※将来推計の考え方は、地域医療構想p.27-29

③日頃の診療や業務の中で感じている地域の実情を勘案しながら、地域の医療の現状を見ていく必要がある

区西南部の状況

<H27報告とH26報告の比較>

- ・平成27年度報告は、高度急性期機能を選択した病床数は対前年の約半数にあたる約755床減。
- ・急性期機能を選択した病床数も、約350床減
- ・一方、回復期機能を選択した病床数が400床以上増

<H27報告の特徴>

- ・高度急性期機能を選択した病床の約6割が一般病棟7対1入院基本料を届け出
- ・全ての病床のうち約4割が一般病棟7対1入院基本料を届け出
- ・高度急性期機能及び急性期機能では、病床稼働率が都平均に比べ低い、平均在院日数は都平均より短い。

<H27報告と将来推計>

- ・急性期機能を見ると、H27年度病床機能報告の病棟ごとの自己申告による報告は5,645床
- ・将来(2025年)の患者数は急性期機能相当(600~3,000点)で2,894人と推計され、その患者を診るために必要な病床数は3,710床
- ・但し、左記のとおりそのまま比較できるものではなく、約2,000床減するという見方ではないことに留意

・そのままの比較は困難だが、将来推計において回復期機能が病床全体の30.9%を占めるのに対し、自己申告の値は12.7%とかなりのひらきがある。

・こうしたデータを参考にしながら、区西南部において、不足すると考えられる機能や役割を検討する必要がある。

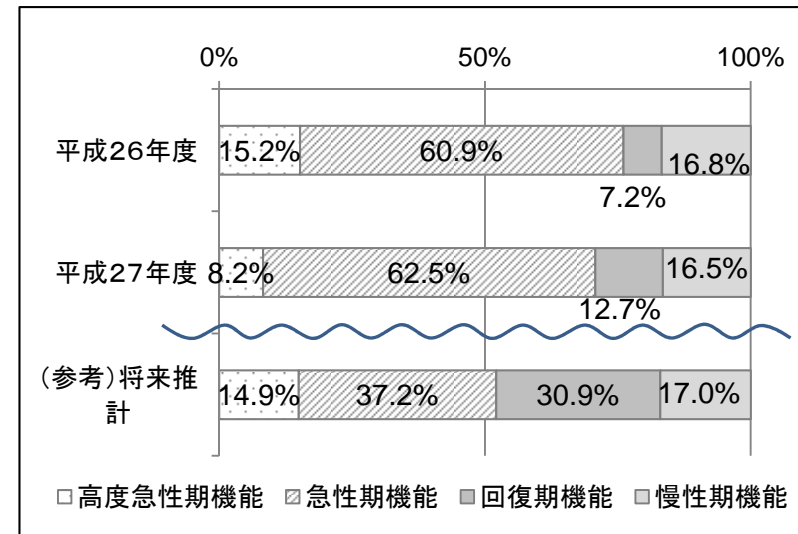
<データ1> 病床機能報告における4機能ごとの病床数

東京都地域医療構想 p.36、242-243参照

	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	計※
平成26年度 報告結果	1,500床 15.2%	6,010床 60.9%	711床 7.2%	1,655床 16.8%	9,876床 100.0%
平成27年度 報告結果	745床 8.2%	5,645床 62.5%	1,148床 12.7%	1,493床 16.5%	9,031床 100.0%

※休棟及び未報告分を除く。割合(%)は機能ごとに小数点第二位を四捨五入。

(参考) 将来 推計	患者数	1,119人	2,894人	2,772人	1,565人	8,350人
(参考) 将来 推計	病床数	1,492床	3,710床	3,080床	1,701床	9,983床
		14.9%	37.2%	30.9%	17.0%	100.0%
2013年 推計足元	病床数	1,337.6床	3,006.2床	2,391.8床	3,111.4床	9,847.0床

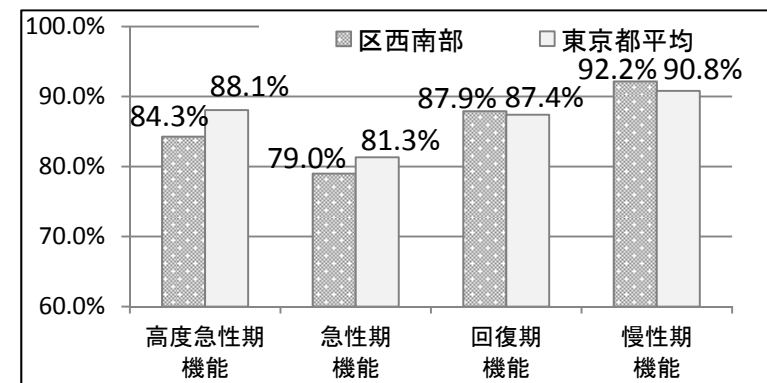


<データ2> 4機能と入院基本料

(床)

	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
1	一般病棟7対1入院基本料 436	一般病棟7対1入院基本料 3,307	回復期リハビリテーション病棟入院料 774	療養病棟入院基本料 869
2	新生児治療回復室入院医療管理料 70	一般病棟10対1入院基本料 1,126	地域包括ケア病棟入院料/入院医療管理料 182	介護療養病床 341
3	救命救急入院料 63	小児入院医療管理料 379	有床診療所入院基本料 78	障害者施設等入院基本料 189
4	特定集中治療室管理料 46	一般病棟15対1入院基本料 370	障害者施設等入院基本料 49	有床診療所入院基本料 23
5	小児入院医療管理料 42	有床診療所入院基本料 167	一般病棟13対1入院基本料 34	緩和ケア病棟入院料 18

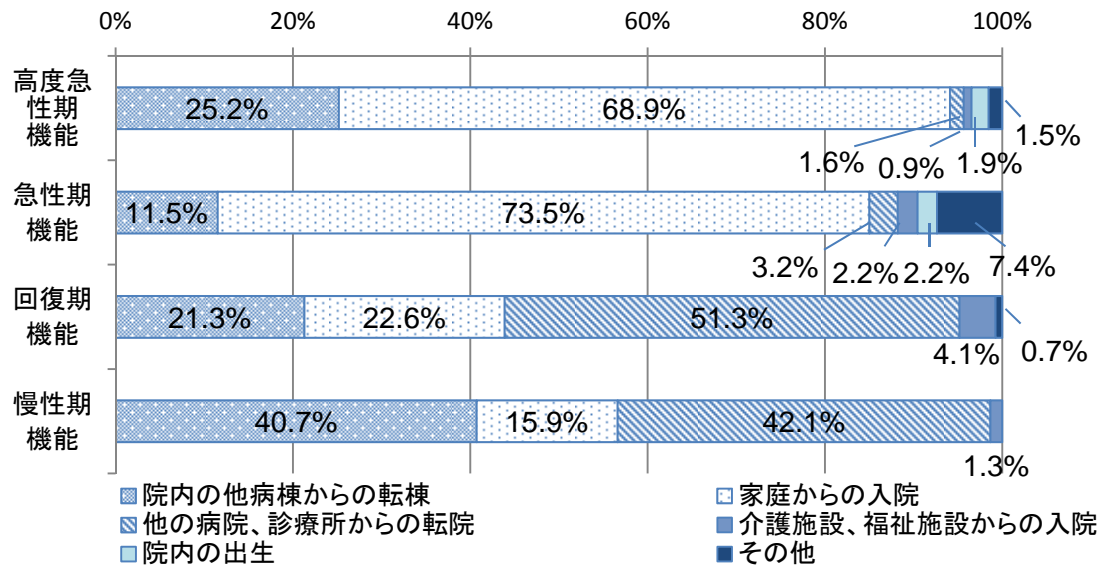
<データ3> 4機能と病床稼働率(病院)



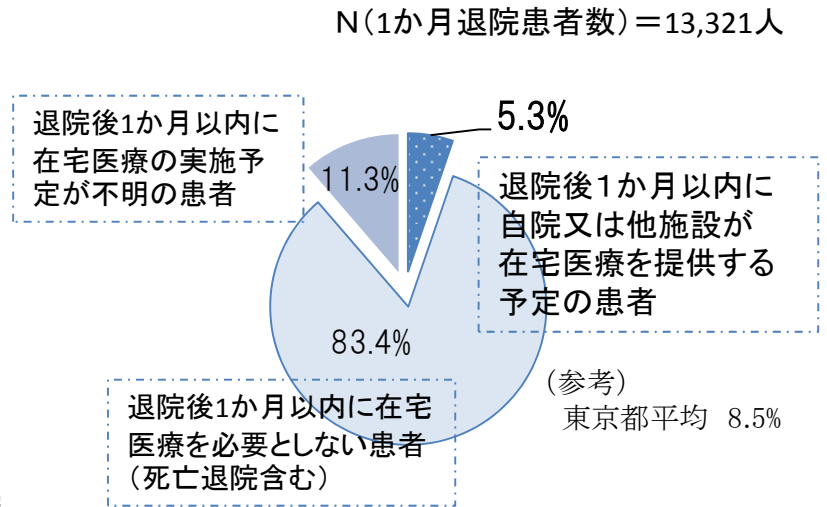
<データ4> 4機能と平均在院日数(病院)

高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
7.8日	10.8日	48.1日	207.2日

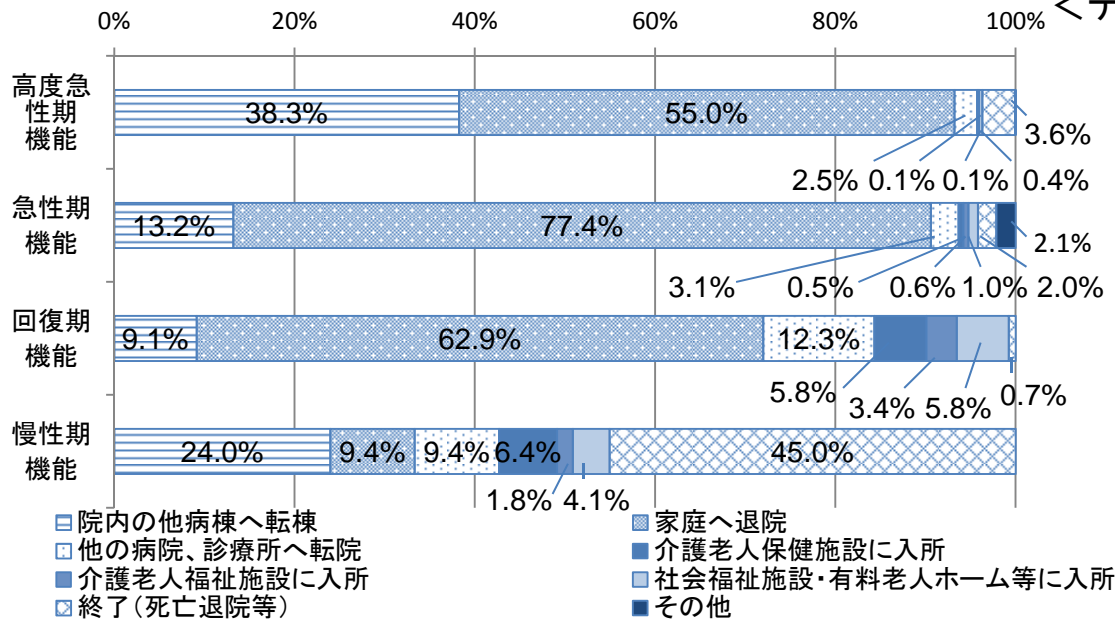
<データ5> 新規入棟患者の入棟前の場所(病院)



<データ7> 退院後に在宅医療を必要とする患者の割合(病院)



<データ6> 退棟患者の退棟先の場所(病院)



<データ8> 有床診療所が地域で果たしている役割

有床診の病床の役割	施設数	割合
病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能	7施設	17.5%
専門医療を担って病院の役割を補完する機能	20施設	50.0%
緊急時に対応する機能	15施設	37.5%
在宅医療の拠点としての機能	9施設	22.5%
終末期医療を担う機能	8施設	20.0%
いずれにも該当しない	8施設	20.0%

注 報告のあった40施設を集計。複数回答可。